

UNESCO
WEEK 2024



ユネスコスクール
全国大会



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY
世界への扉を開く

ユネスコスクールのつながりと 実践を深めるための 仕組みと仕掛け

柴川 弘子

岡山大学大学院教育学研究科 ESD協働推進センター

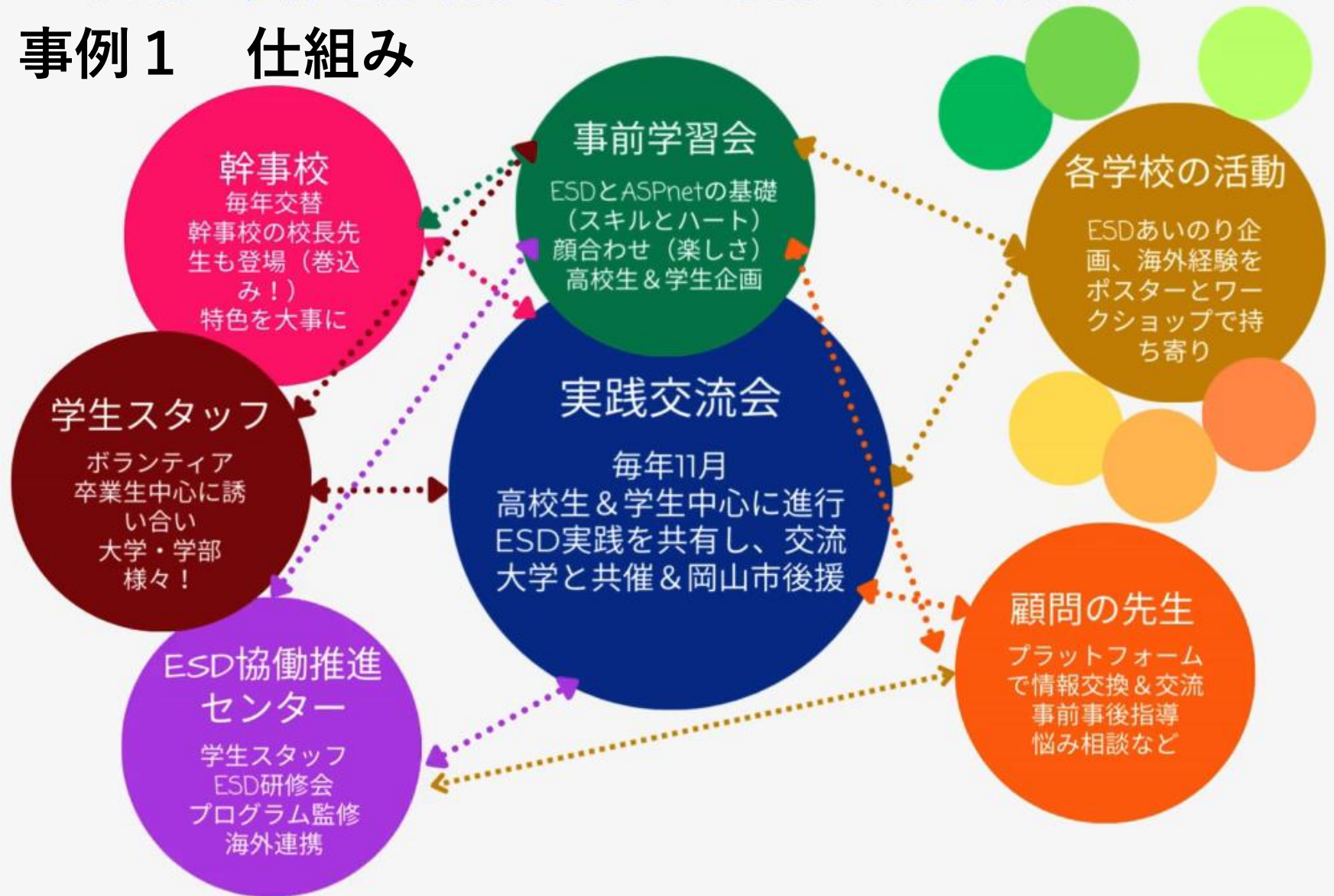
実践紹介

- 1) 地域内の加盟校でネットワークを組んだ活動の支援：岡山県ユネスコスクール高校ネットワーク
- 2) 学校間（国際）交流：福山市立駅家西小学校とインドネシア・スクマ学校とのオンライン学習交流



The structure of our network

事例1 仕組み



岡山県ユネスコスクール高校ネットワーク

- 2014年ESD世界会議「Student（高校生）フォーラム」（岡山市で開催）への参画を契機に結成
- 2023年現在10の加盟校 + 1（チャレンジ校）
- 「事前学習会」「**実践交流会**」 + α
- 幹事校は加盟順に**毎年交替**
- **OBOG学生スタッフ**
- 岡山市SDGs・ESD推進課のバックアップ
- 校長会で公認



様々なESD活動テーマ

(社会的状況・課題により変化)

- 岡山県立矢掛高校
- やかげ学
 - ESD タイム (探究)
 - YKG 60 中高生連合

- 岡山龍谷高校 (私立)
- 龍谷in Global Scale
 - 龍谷リベラルアーツ
 - 龍谷ミュージアム

- おかやま山陽高校 (私立)
- 服のチカラプロジェクト
 - アフリカ支援
 - まこもだけ (特産品) 開発

- 岡山県立一宮高校
- フェアトレード
 - 探究活動
 - ユネスコ部・ユネスコ委員

- 岡山市立後楽館高校
- 国際交流
 - まちなかのふるさと教育
 - らっかん食堂・西川水族館

- ND清心女子高校
- 環境学習
 - 人権とジェンダー
 - 国際理解

- 美作高校 (私立)
- 地域コミュニティ開発
- 寺子屋運動
 - SDGs学習

- 岡山県立林野高校
- My Dream Project (探究)
 - みまさか学 (地元学)
 - 台湾の高校との交流

- 岡山県立和気閑谷高校
- 閑谷学
 - パラスポーツ
 - 閑谷学校ガイドボランティア

- 岡山学芸館高校 (私立)
- 福祉ゼミ
 - 国際理解学習
 - 地元地域の施設での活動

～2019年 ブルガリアASPnet校との交流

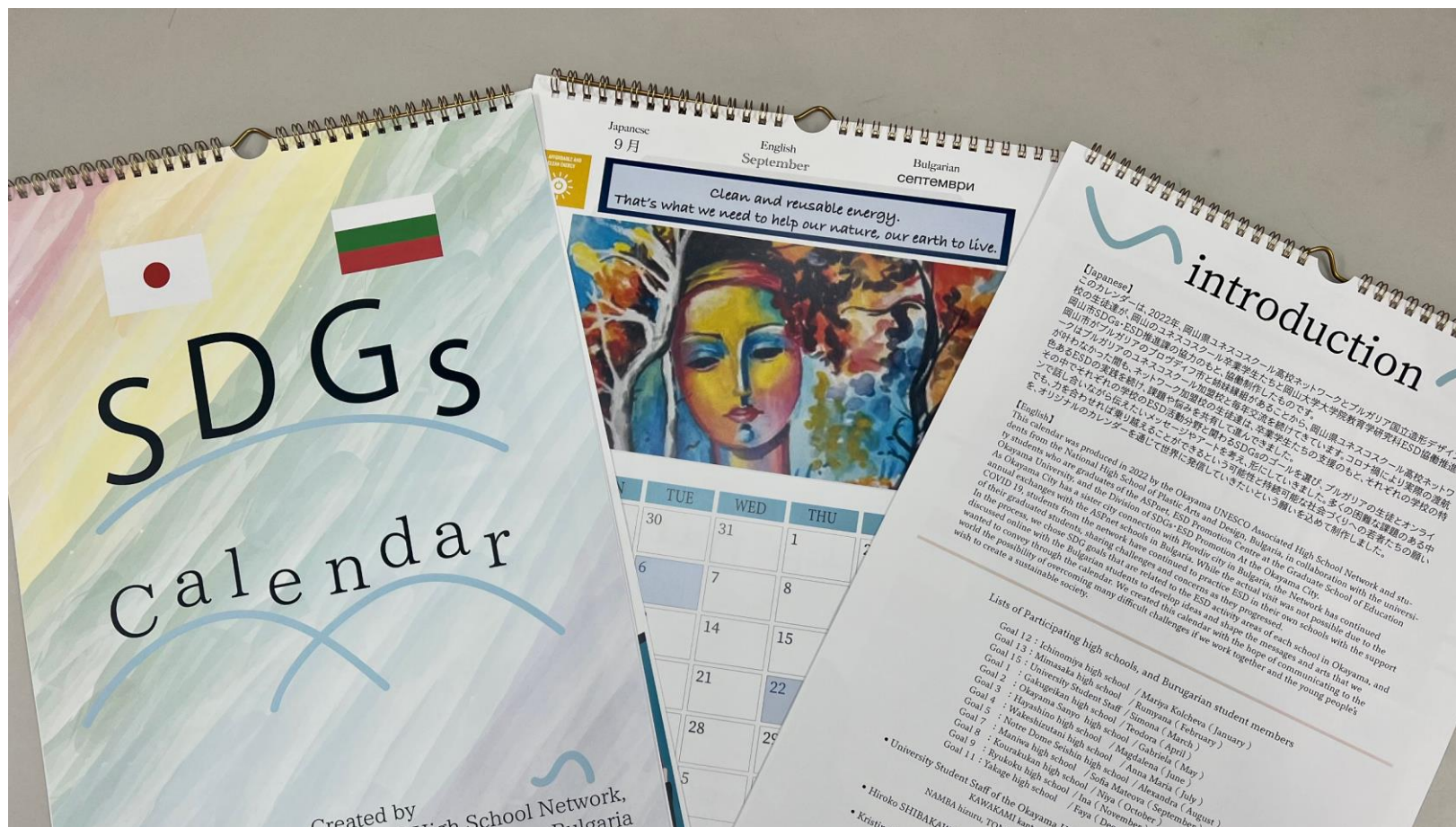
- オリンピック・ホストタウン事業でブルガリア交流
- 1年おきに現地を訪問（教員と生徒たち）

岡山市公式YouTubeチャンネルにて2019年の実践交流会（幹事校：岡山県立矢掛高等学校）の様子が紹介されています。



<https://youtu.be/o2mBiPig95Y?si=aikMBkuR1XzOXF71>

2021年 SDGsカレンダー共同制作



2022年 実践交流会 エコプロダクツづくり ワークショップ

- 事前学習会で真にエコであることの難しさと面白さを学ぶ（大学生によるシステム思考ワークショップ）
- 各学校で特色あるエコ・プロダクツの制作に取り組み、それぞれのブースを設置し、集まった生徒たちが他校の生徒たちから作り方や工夫、課題について学ぶ
- マレーシア国際イスラミック大学においてSDGsについて学ぶ学生たちも参画：各学校の作品についてオンラインでコメント
- 幹事校の生徒がオンライン中継・通訳したり、学生スタッフがそれをサポートするなど、可能な限り自力で運営

詳細：<https://edu.okayama-u.ac.jp/esd-topics/topics00007/>

幹事校の高校生による企画



大学生スタッフたち



各学校のESD実践紹介



ガーナ留学生



Eco Products ワークショップ 例



左：米袋のエコバック（岡山県立林野高校） 右：県産材活用事業で余った“かななくず”を再利用したインテリアフラワーづくり（岡山県立矢掛高校）

2023年 事前学習会 「防災」



左：幹事校生徒による防災学習のイントロ「なぜ、いま、防災なのか」
右：元ネットワーク教員の震災の被災経験。学生スタッフがMCとなり、参加した高校生がチームで考えた質問を、選んで届ける。TV番組のお便りコーナーを模す。

2023年 事前学習会



左：初対面の高校生たち。すぐ打ち解けて一生懸命良い質問を考える。
右：異なる大学・学部から集い、後輩たちをサポートする学生スタッフたち。しなやかに場を仕切る先輩の姿にあこがれを持つ高校生たちも多い。

2023 実践交流会

- 「防災」をテーマに実践交流会で学び、深めたことから、各学校でのESDの取り組みに防災の視点を掛け合わせた活動を実施
- 午前：各学校のESD活動や防災について探究した内容を発表（ポスターセッション形式）
- 午後：ワークショップで防災グッズの作成や、HUG（避難所運営）ゲーム、防災食のレシピ考案など
- マレーシア国際イスラミック大学の教員3名が参加
- 事前学習会の講師の先生、卒業して教師となった元学生スタッフ、市役所スタッフも参加

2023 実践交流会 「防災×ESD×ユネスコスクール」



2023 実践交流会

OBOG学生スタッフによるファシリテート



防災ワークショップ例 1.非常食レシピづくり

ルール


ています。
の犬種、
て課題を
それぞれどの
いるのかを導

いけませんが美味しくなくてはいけません。そこで美味しく食べられるレシピを紹介!

キャンディーキャンパン

【材料】
キャンパン 100g
砂糖 40g
水 小さじ2

【作り方】
①フライパンに水と砂糖を入れて中火にかける。
②砂糖が溶けたらキャンパンを入れて混ぜる。
③表面が白くなったら弱火にし、透明になったら火からおろし冷やす。



このレシピは、災害時に必要な非常食として、美味しく食べられるように工夫されています。

このレシピは、災害時に必要な非常食として、美味しく食べられるように工夫されています。

このレシピは、災害時に必要な非常食として、美味しく食べられるように工夫されています。

防災ワークショップ例 2.お菓子の防災バッグ



防災ワークショップ例 3. 防災学習ブレスレット



防災ワークショップ例 4.SDGs 「防災」カードゲーム



防災ワークショップ例 5.マイタイムラインづくり



防災ワークショップ例 6. ビニール袋でレインポンチョづくり



オンラインツール(Google, LINE) を活用

R5_ユネスコスクール共有シート ☆ 共有 ヘルプ

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

H6:16

1 2 3 4 5 6 7 8 9

岡山大学・柴川 昨年と同様、ワークショップで必要な物品がありましたら10月中旬を目途にお知らせ下さい。注文の都合上、品番など詳しく教えて頂けたら大変助かります。

	岡山県立相模原高等学校	岡山学芸館高等学校	岡山県立岡山一宮高等学校	清心女子高等学校	岡山県立矢掛高等学校	岡山県立倉敷高等学校	朝日薬中教育学校	岡山県立美作高等学校	岡山県立林野高等学校	
ワークショップ案	新聞紙でできる！防災グッズ特集	SGDsカードを使って、ゲーム形式で防災意識を高める方法を皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。いまできる私たちが、何が出来るかをゲームを通して考えたいと思ひます。	去年と引き続きシトラスリボンを作ります。シトラスリボンは家庭、地域、学校の3つが協力するという意味があるので皆さんで作らしましょう。	自分の地域・学校周辺の地図を用いて、災害が起きたらどのような被害が想定されるか、本校生徒と一緒に考えていきます。その後新聞紙を用いて「スリッパ」を作ったり、牛乳パックを用いて笛を作ったりします。	災害を受けた方とそうでない方との間に「災害に対する気持ちの違い」があると知り、その温度差を埋めるきっかけを作れないかと考え、「真備災害すごろく」を矢掛高校生と神戸社会福祉協議会と神戸の学生たちで作った「真備災害すごろく」をやってみよう	お菓子のカバン、プレスレット、ネックレスで小さい子に防災意識を！！卵、乳製品、えび、かに、ナッツ類のアレルギーの子にも対応できるお菓子の子にも対応できるお菓子を、ワークショップではプレスレットを作ろうと考えています。	ペットボトルを使ったランタンづくりを考えています。カラーセロファンを使って、飾りつけを一緒にやってみようと思ひています。 ライトは原本用のみの予定です。作ったペットボトルは持ち帰りOKで、家の横で電灯で試してもらいます。【準備物：ペットボトル、カラーセロファン、のり、マスキングテープなど】 準備物は学校から持って行く予定です。 https://oh-playlist.com/recipe_public/1190 ちょうど福津市で防災リーダー研修があり、参加した生徒もいるためロープワークもやってみようかと思ひています。	ごみ袋を使ったレインコートを考えています。カラーセロファンで縛るだけで災害時でも簡単に真似できそうなものを考えています。	オリジナルの防災ゲームを行いたいと考えています。5～6人を1チームとして、情報カードを1人につき5～6枚配布します。情報カードに書かれている情報を口頭のみで交換し、最終的に一つの正解にチームでたどり着くというものです。情報は、家族の名前や家族構成、避難所の位置などを収録したものを予定しています。正解の順番の配列を振り返ったときに、家族構成と避難所の位置に相関を持たせて、「小学生でも楽しめる！」が目標にしています。	新聞紙作り。作
所要時間とブースの準備	特に希望ありません。新聞紙ありがとうございます。	4人1組の2チームが座れるほどのカードゲームができる広い机があれば有難いです。時間は1ゲーム15分とし、その中で防災意識を高めるアイデアをSDGsカードを使って、チームと協働して導き出すゲームが対戦形式でできればと思ひています。	長い机と椅子が少々あれば大丈夫です。		A2サイズのすごろく台紙を4枚使うので台紙が置ける大きさの机が必要です。ゴールまで約20分程度	プレスレット 15分	ペットボトルの方は、大体10～15分※凝ると時間がかかるので、おおよそです。ロープワークは、いくつか種類があるのでそれによって、まちまちですがこちらも10分～15分くらいで3種類くらいはマスターできると思ひます。	所有時間は約10分～20分です。		
困っていること	新聞はどのくらい用意していたら大丈夫ですか？	4人1組で座れる座席を2組準備していただき、マシクをお貸しいただければ有難いです。記入用紙は、学校で用意します。				準備物は自分たちで用意したいのですが、お金は自腹になりますか？		必要なものは学校で準備できそうです。	1ゲームにつき所要時間が20～30分を予定しているのですが、ワークショップの時間で、その時間、参加者を拘束するのは大丈夫でしょうか？	新聞紙(手で用意し)
アド	恐らく沢山あると思ひますが、タイミングによっては既に回収されてしまっているかもしれないので、明日また確かめてみます。他校でも	席の件、マシクの件、承知いたしました。楽しみにしています。	承知しました。今回は何か防災の要素も入っているのでしょうか？楽しみにしています。	承知しました。参加者と一緒に考えていく、というタイプのワークショップなので、スリッパや牛乳パックの箱も初め	席のことなど承知いたしました。皆で協力しながら配置をして頂けたらと思ひています。どうぞよろしくお願ひいたします。	申し訳ありません。コメントが消えてしまいました。こちらで購入できるものは「注文できる消耗品」または「大学事務局のワークショップで購入できるもの」になっています。ただ、既に10月末を過ぎ	楽しみにしています。必要な時間などお知らせ下さい。	楽しみにしています。必要な時間などお知らせ下さい。	ワークショップの時間枠は2時間ありますので、あらかじめアナウンスしておけば大丈夫なように思ひます。このゲームを知った他校の生徒	ありがた布デた、他高よう

事前学習会参加生徒 実践交流会参加生徒 実践交流会に向けて ワークショップ一覧 シート5 シート6 シート7 シート8

2023年12月 オンライン学習会 林野高校とマレーシア国立バトゥムダ高校



- 国際イスラミック大学マレーシアの学生が支援する国立バトゥムダ高校の生徒（8月に訪問し、教員が実践発表）
- ユネスコスクール加盟希望
- 林野高校生徒による実践交流会を通じた防災学習と、探究学習「My Dream Project」の紹介
- 岡山後楽館高校、ノートルダム清心女子高校、朝日塾中等教育学校も視聴し、林野チームを応援

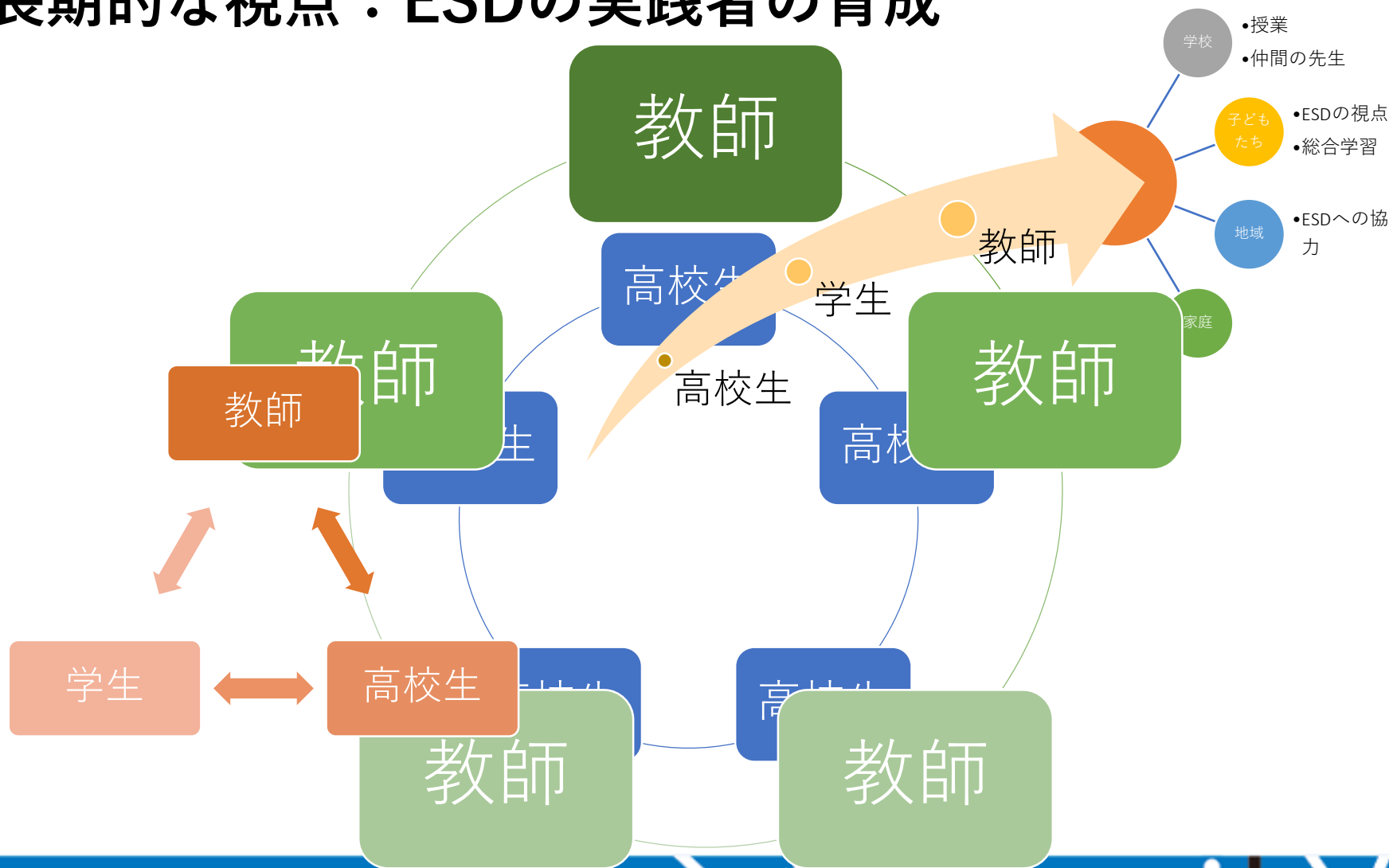
2023年12月 オンライン学習会 林野高校とマレーシア国立バトゥムダ高校



- バトゥムダ高校の生徒は、ユネスコの柱である平和学習、異文化理解、非暴力についての学びを発表
- 林野高生にとっては学んだことを英語で総括する難しさがあったが、達成感も得られ、学習意欲が向上した様子
- 「探究」の捉え方にかなり差異があること

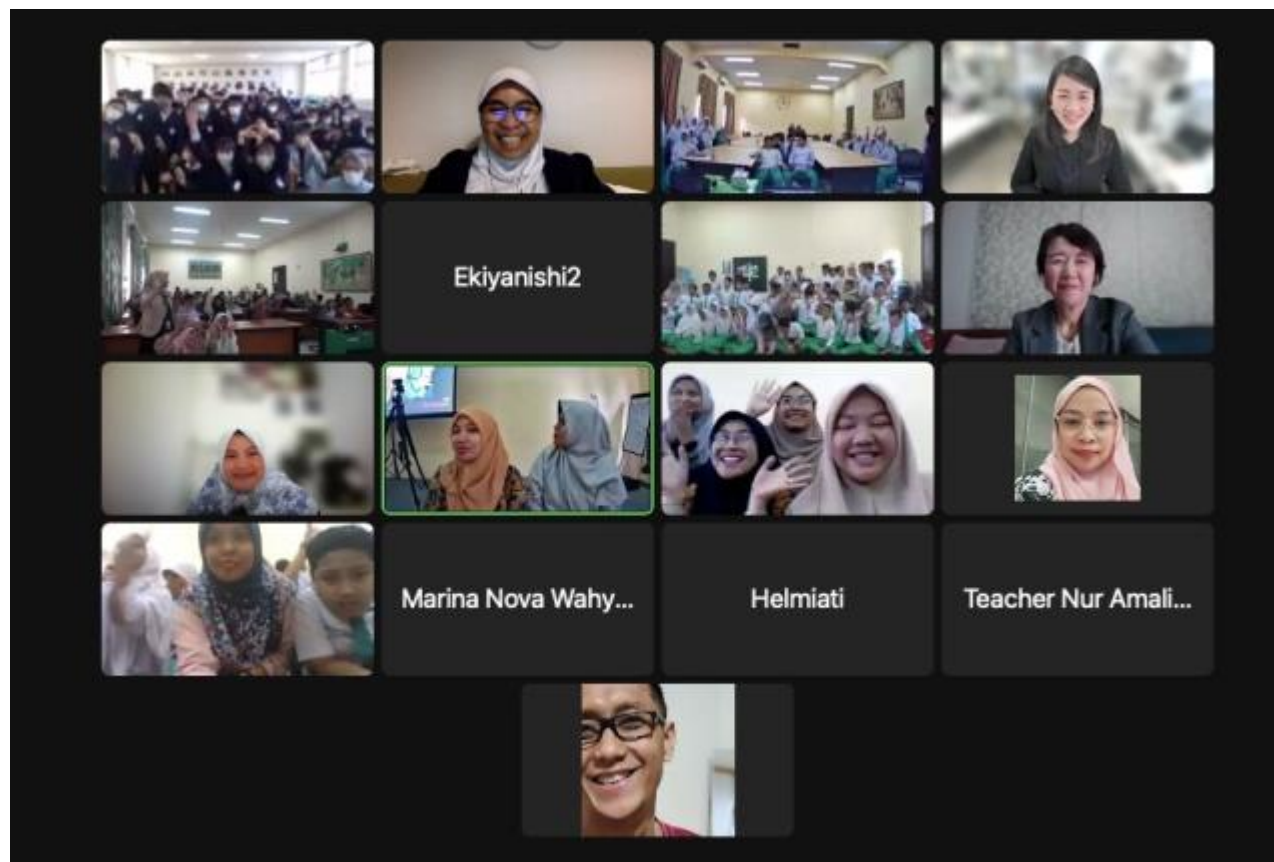
林野高校ブログ <https://x.gd/bpopG>

長期的な視点：ESDの実践者の育成



実践事例 2 学校間交流

- 福山市立駅家西小学校 × インドネシア・Sukuma学校



2022年3月 6年生どうしの探究学習の交流


- アチェ州Sukuma Bangsa School (<https://sukmabangsa.sch.id/>) の3つの小学校の発表 & 駅家西小6年の作成した福山市と地元地域の魅力や特産品に関する探究学習発表
- オンラインでつなぐ時間：1時間程度
- 事前にファイルをGoogle Driveなどを活用して送付。質問も交換しておく。
- 当日は質問に対する「答え」を中心に
- 追加の意見やコメントも
- Sukuma学校と共同研究を行うフィンランド・タンペレ大学研究者のSatia Zen先生（元Sukuma学校の教師）の仲介とコーディネート

室町文化について学んだことの披露

Zoom Meeting

Recording

Sekolah Sukma Bangs... Pusdatin SSBLHOK Ekiyanishi1 Hiroko Shibakawa@Okay... SD Sukma Bangsa Pidie SEKOLAH SUKMA BAN...



Unmute Start Video Security Participants Polls Chat Share Screen Record Breakout Rooms Reactions Apps Whiteboards Leave

76°F Mostly sunny 8:58 AM 3/10/2023

2023年2月 6年生どうしの交流

Recording

You are viewing Pusdatin SSBLHOK's screen

View Options

SHOW TASKBAR

DISPLAY SETTINGS



END SLIDE SHOW

0.02.09


08.58

Next slide


We use batik for ceremonial attire, traditional wedding dress, daily gown, a blanket, school uniform, and to carry baby around. It's very convenient to wear.




Every region has its own special pattern.



Batik tambal from Yogyakarta



Batik parang kusumo from Solo



And this is batik pattern from our region, Aceh.

No Notes.

Slide 5 of 14

Unmute

Start Video

Security

Participants 21

Polls

Chat 2

Share Screen

Record


Breakout Rooms

Reactions

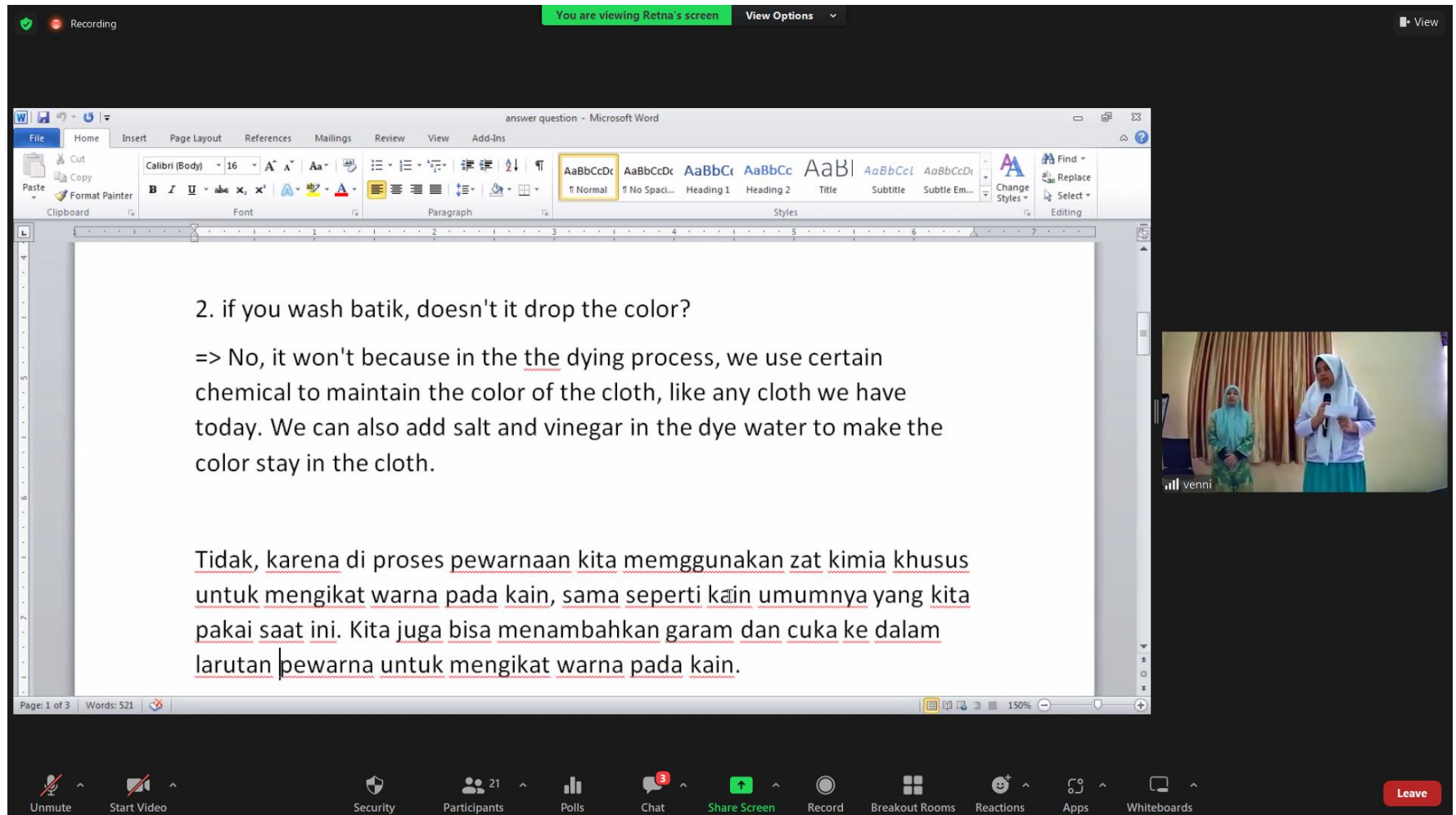
Apps

Whiteboards

Leave



2023年2月 6年生どうしの交流



The screenshot shows a Zoom meeting interface. At the top, there is a status bar with "Recording" on the left, "You are viewing Retna's screen" in a green box, and "View Options" on the right. The main area displays a Microsoft Word document titled "answer question - Microsoft Word". The document contains the following text:

2. if you wash batik, doesn't it drop the color?
=> No, it won't because in the the dyeing process, we use certain chemical to maintain the color of the cloth, like any cloth we have today. We can also add salt and vinegar in the dye water to make the color stay in the cloth.

Tidak, karena di proses pewarnaan kita menggunakan zat kimia khusus untuk mengikat warna pada kain, sama seperti kain umumnya yang kita pakai saat ini. Kita juga bisa menambahkan garam dan cuka ke dalam larutan pewarna untuk mengikat warna pada kain.

At the bottom right of the Zoom window, there is a video feed of two women. One woman is wearing a white hijab and a white top, and the other is wearing a green hijab and a green top. The name "venni" is visible below the video feed. The Zoom control bar at the bottom includes buttons for Unmute, Start Video, Security, Participants (21), Polls, Chat (3), Share Screen, Record, Breakout Rooms, Reactions, Apps, Whiteboards, and a red "Leave" button.

2023年3月 交流後のThank you letter



2023年3月 インドネシアからのメッセージ



2023年7月 6年生の外国語活動の発表

- 6年生が外国語活動で学んだ日本の伝統的な行事を1月から12月にまとめ、発表。
- 春夏・秋冬の2グループ。
- 予め発表のスライドを送付して頂き、内容を確認しておく。
- スクマ学校の児童生徒たちが質問し、通訳を介して駅家西小学校の子どもたちが回答する形式。
- 聞き取りにくいことや、詳細な話が出た際には、チャット欄などを活用して通訳。（リモート参加）

全学年の交流会へ（2024年 1月25日）

- 全学年がそれぞれ学んだこと、インドネシアの子どもたちに伝えたいことをまとめて発表予定

1年 日本の伝統的な遊びについて

2年 おもちゃの作り方

3年 日本の福祉

4年 日本の伝統工芸・建築物・祭り・食べ物など

5年 米作り

6年 駅家西小学校での学びについて

山陽新聞による取材：<https://www.sanyonews.jp/article/1508227>

課題と展望



- 教員どうしの十分な打ち合わせが鍵
- オンラインの場合はICT技術も必要
- 英語学習の動機づけと「支援」のバランス
- コーディネーター的存在の業務の位置づけ
- 学校「こんなことを頼んで良いのだろうか？」
→UnivNet「私たちにとっても学びの機会」
- 学生を巻き込む
- 外部や地域にも公開したい
- 地元地域のサポーター（ICTや英語）を獲得し持続性を